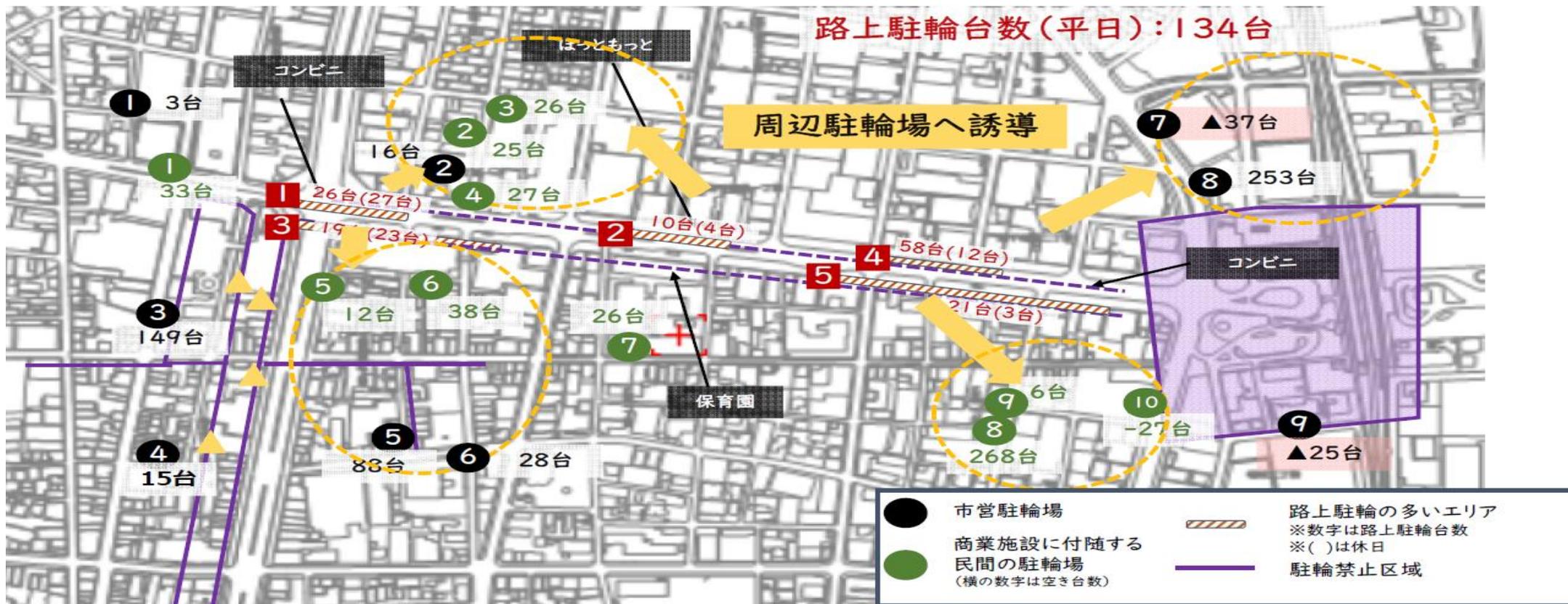


路上駐輪の現状と駐輪スペースの検討について

路上駐輪誘導イメージ

宮崎市提供資料

- 来街者の利便性を考慮すると、市営駐輪場だけでは立地的に駐輪需要をカバーできないことから、周辺事業者の協力が得られる場合は、**民間駐輪場の活用**も実施。
※民間事業者への打診は今後実施予定。
- その場合の基本的な考え方として、**1 2**の路上駐輪については、**2**・**2**～**4**へ、**3**は**5 6**・**5 6**へ、**4**は**7 8**へ、**5**は、**8 9**へ誘導。



2025/3/21

第5回高千穂通デザイン検討会

路上駐輪対策に係る基本的な考え方

- 路上駐輪については**周辺駐輪場への誘導を基本とし、必要最低限の設置とする。**
- 駐輪スペースを設置する場合、その利用者はコンビニ利用や沿線ビルへの所用等、**一時的な駐輪を想定しており、従業員など長時間の駐輪のためではない。**
⇒ 長時間駐輪される方については、サイン設置により、近隣駐輪場に誘導。
(本来は民間ビル側に従業員用駐輪場を設けていただく必要がある)

駐輪スペースの考え方

- 景観の観点から、駐輪スペースはシェアサイクルポートの横等、出来る限り集約する。
- 山形屋は駐輪場が整備されており、空き台数も十分にあることから、駐輪スペースを設置しない。
- 従業員による路上駐輪の多い、日本生命ビル付近には駐輪スペースを設置しない。
- 高千穂通両端のコンビニ前及び通り南側の保育園周辺では、一時的な駐輪需要を想定。
- 現在路上駐輪している方の大半は従業員等の長時間利用の方であり、一時的な駐輪を行っている方はごく一部。
(宮崎土木事務所の駐輪後行動調査によると、**区域内用務(短期)**は路上駐輪者の概ね**15%程度**。)
⇒ 駐輪スペースの収容台数は、路上駐輪台数総数ではなく、その中の**一時的な駐輪需要分のみ確保**。
- 長時間利用の方が駐輪スペースに駐輪しないよう、「〇時間以内の駐輪に限る」等の**時間制限**を設けるかも検討する。

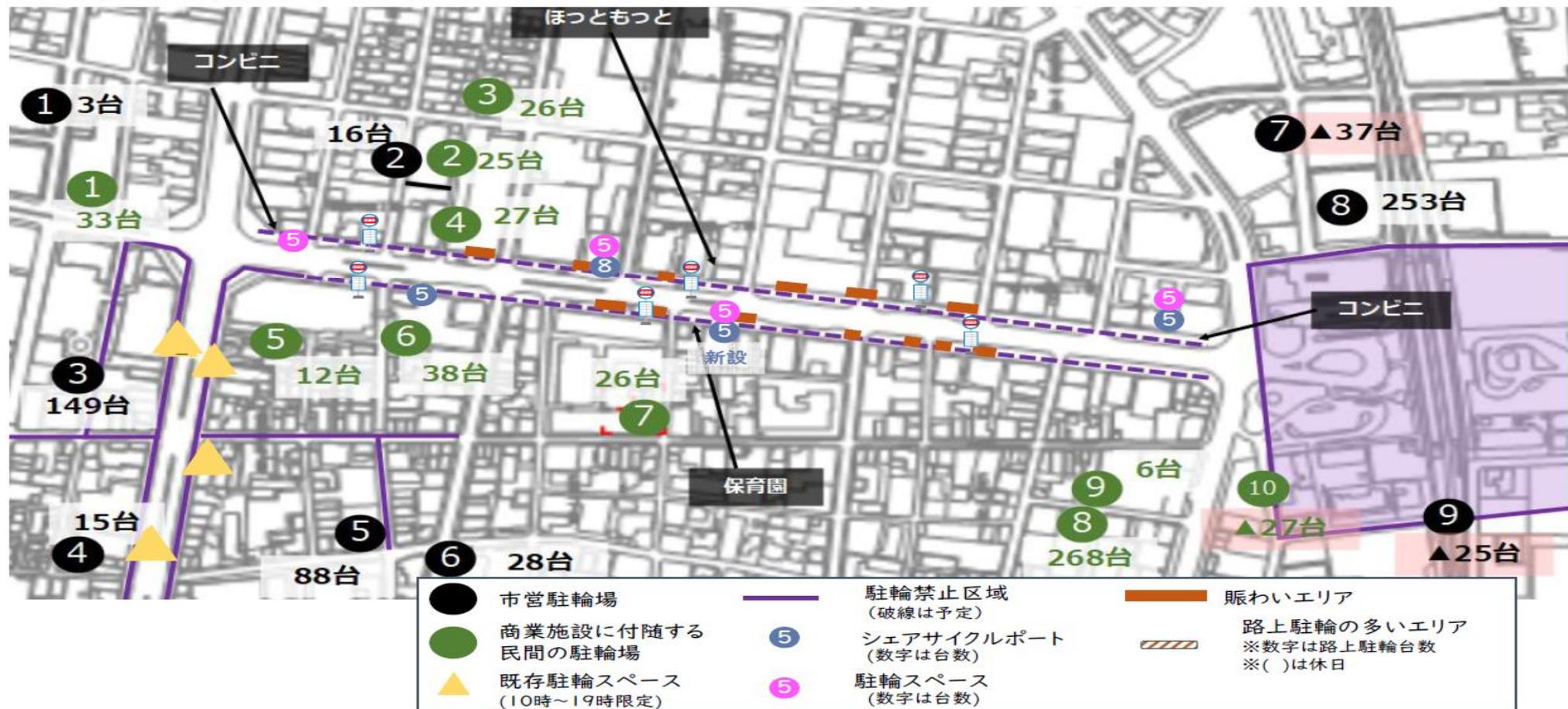
駐輪スペースの収容台数(案)

- ① 高千穂通の路上駐輪台数(平日): 134台
- ② そのうち、一時的な駐輪台数(推計): 15%
- ③ 高千穂通上に必要な駐輪スペース収容台数: **20台** (=①×②)

駐輪場スペースの場所及び台数(案)

宮崎市提供資料

- 山形屋前以外のシェアサイクルポート横、橘通3丁目交差点のコンビニ前に駐輪スペースを設置。
- 高千穂通全線で駐輪数スペースは20台分確保するため、駐輪スペースにはシェアサイクルポートや橘通の駐輪スペースを参考に、20台(5台×4箇所)を設置する。



2025/3/21

第5回高千穂通デザイン検討会